

八鹿病院 ニュース



2011年
1月

公立八鹿病院基本理念

『私たちは、地域中核病院として、医の倫理を基本に、質の高い医療と優れたサービスをもって、住民の健康を守り、地域の発展に尽くします。』



謹賀新年



管理者よりご挨拶



八鹿病院組合 管理者
池口 寿彦

明けましておめでとうございませう。皆様方にはご家族お揃いで良い年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、平素から

病院運営には温かいご理解を頂いておりますこと深く感謝申し上げます。

昨年の夏は記録的な猛暑に見舞われ、様々に影響を受けた一年でありました。自然現象だけは現代科学を持つても如何ともしがたい事ではありますが、どうか新しい年は穏やかであってほしいと願っています。

医師不足等で皆様にはご不便やご迷惑をかけておりますが、より良い医療が提供できるよう今後とも全力で取り組んで参りたいと思っております。

新しい年が皆様方にとりまして素晴らしい年となりますよう祈念いたします。

院長よりご挨拶



八鹿病院 院長
宮野 陽介

明けましておめでとうございませう。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

この地域では住民の3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上の高齢者となり、全国に先駆けて高齢化社会となりました。八鹿病院では、こうした社会情勢に対応し、行政とも連携して出来る限りの人材を確保し、より充実した保健・医療・福祉を行ってゆきます。

また、出前講座などで、脳卒中やCOPD（タバコ病）などの生活習慣病の予防、がん検診の普及など力を入れてゆきたいと思っております。市民の皆様のご理解とより一層のご支援を賜りますようお願いいたします。



yoka hospital × 「ドクター」

呼吸器科

塩田哲広

平成22年10月より当院に着任した塩田医師から、皆様へごあいさつとしてお話を伺いました。



星野監督は仙台の人を熱くするのなら、私は八鹿の人を温くしたい……。

第88回日本呼吸器内視鏡学会近畿支部会会長
日本呼吸器外科学会 指導医 評議員
日本呼吸器内視鏡学会 指導医、専門医、評議員
日本呼吸器学会 指導医
日本臨床細胞学会 指導医
日本外科学会 認定医、指導医
日本内科学会 認定医
胸部外科学会 認定医
日本癌治療認定医機構 暫定教育医
米国胸部疾患学会 fellow

「今朝から血痰がでるんや。」

平成6年7月19日の事でした。

父親からの電話です。父親は暇があつたらタバコを吸い、家の中はヤニだらけ、寝たばこのせいで布団や衣服には常に焦げ跡が数か所母親にはいつも怒られています。が、私にとっては近所のタバコ屋にお遣いに行って貰う小遣いが、その当時私の大きな資金源になっていたように記憶しています。まだ禁煙権よりも喫煙権の方が強かつ

た時代の話です。

「肺癌」から始まった父親の闘病生活

早速、翌日私の勤務している病院を受診してもらい検査をしますとやはり肺癌でした。左肺は上葉と下葉から構成されていますが、その両方に癌が見つかったのです。父親が74歳の時でした。母親と姉

が癌の告知に猛烈に反対しましたので、父親に『癌ではないけど手術した方がいい』と話しましたところ『じゃあ、涼しくなつて秋頃にでもしてもらおか』との事でした。仕方なく癌の告知をしたところ、意外にもすんなり受け入れて8月に左肺の下半分と上の肺の一部を切除する手術を施行しました。やはりかなりシヨックだったのでしよう。この日を境に大好きだった酒とたばこは一切やめました。

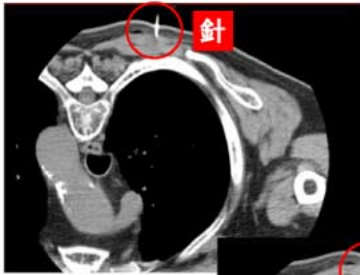
翌年1年目の検診で肺癌の再発はみられなかったのですが、ついでにと思つて行った胃内視鏡検査で胃癌がみつかりました。その年胃全摘手術を施行しました。肺癌と違い胃癌の手術、特に胃全摘術は術後に思うように経口摂取が出来ないことが非常につらかつたようで、10kg以上痩せました。

その後は順調に経過していましたが、平成11年4月に今度は右肺下葉に新たに肺癌が発生しました。この時父はすでに79歳になっていました。COPDと左肺術後のため肺機能は悪く右肺の一部を取る手術（右S6

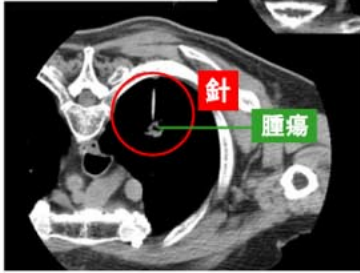
塩田医師より最新の検査を紹介！

CTガイド下生検

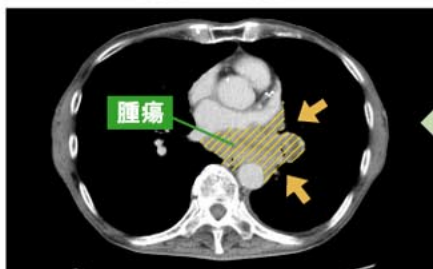
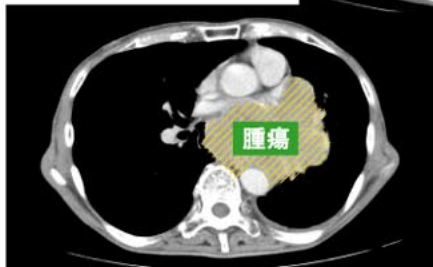
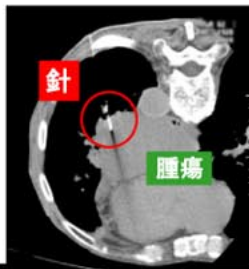
肺の中にできた腫瘍をCTを撮影しながら針で刺して組織を採取します。



【症例1】77歳 男性
右肺上葉の直径1cm大の腫瘍から組織を採取し肺扁平上皮癌と診断しました。



【症例2】82歳 男性
心臓の真後ろに直径10cm大の巨大な腫瘍を認め、心臓が圧迫されていました。CTガイド下生検の結果、小細胞癌と診断し化学療法を行いましたところ腫瘍は著明に縮小しました。



化学療法後

奇跡的に回復した父親に最大のピンチが訪れます。平成16年12月9日急性化膿性胆嚢炎で緊急手術になったのです。術後84歳になった父親には、体力も気力も残っていませんでした。頑なにリハビリを拒否する父親を動かしたのは、孫の言葉でした。『爺ちゃん。もう

ピンチを救った孫の言葉

区域切除術)を施行しました。あまり気がすまなかったのですが、私が執刀しました。

1回元気になってお家に帰ろう。平成17年1月11日なんとか退院できました。現在90歳。生来の頑固さにはさらに磨きがかかりましたが、やや認知症気味の母親とともにそれなりに元気に



【上】病室で両親と息子の怜史(平成16年12月)

【下】両親と私(平成21年9月 城崎)

生活しています。私は父親からたくさんのお話を学びました。いや父親が身を呈していろいろな事を私に教えてくれたのかもしれない。私がこれまで学んできたことを少しでも患者様

に還元することが、なによりの親孝行だと近頃考えるようになりました。この度、縁あってこの地に赴任してまいりました。専門は呼吸器疾患です。呼吸器疾患の診療を通して少しでも皆さんのお役にたてればと考えています。星野監督は仙台の人を熱くするなら、私は八鹿の人を温くしたい。医療とは縁の下を力持ちのようなもの。家族のように皆さんと皆さんの大切な人を支えたい。私はそう考えています。

「療養介護事業」導入について

八鹿病院 脳神経内科 近藤 清彦

医療技術・機器の発展に伴い、神経難病や脳卒中で人工呼吸器を使用するようになってきています。当院では、平成二年に全国に先駆けて筋萎縮性側索硬化症（ALS）の在宅人工呼吸療法を開始し、これまで四十名あまりの方の在宅療養を訪問看護や関連機関の方々の協力で支えてきました。

在宅療養ができる 難病中の難病「ALS」

ALSは手足やのどの麻痺が徐々に進行し、手を動かす、歩く、食べる、しゃべるなどの機能が徐々に失われ、呼吸する力も弱くなる病気です。今なお原因不明で難病中の難病と言われていますが、最近のiPS細胞の研究で治療法発見に光がさしてきています。

昨年、普天間基地問題で鳩山首相が面会を申し込まれた徳洲会病院創設者の徳田虎雄氏や、かつて

クイブダービーでの珍答で知られた篠沢秀夫教授もALSで、人工呼吸器を使用して在宅療養されています。お一人とも頭の働きはしっかりされており、目で文字盤をさしたり、コンピュータを使って意思伝達をされています。

ALS患者さんは全国で八千人を超え、二千人以上の方が人工呼吸器を使って療養されています。

当院では、二十年前にALSケアチームを作り、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、栄養士、薬剤師、歯科衛生士、臨床工学技士、音楽療法士、医療ソーシャルワーカーなどの多専門職種の協働で療養生活を支援しています。また、院外では、かかりつけ医、訪問看護センター、健康福祉事務所保健師、ケアマネジャー、ヘルパー、消防署救急隊などの連携で、安心して在宅療養ができるようになっています。

当院が療養介護事業を 導入した背景

患者さんご本人は在宅生活ができることを大変喜んでおられますが、一日中お世話をされている介護者の方が疲労や睡眠不足をきたされる場合もあります。そのために当院では、レスパイト入院（介護者

の休養のために患者さんに入院していただくこと）を行ったり、介護者のご都合によっては長期入院していただいたりしています。

最近人工呼吸器を使用している療養される方が増えていますが、従来の病棟の看護師のみでは対応人数に限りがあり、必要なときにすぐ入院していただくことが困難になってきています。

そこで、平成二十三年四月から「療養介護事業」という新しい取り組みを開始することになりました。

患者さん・介護する方の 過ごしやすさを目指して

この事業は、従来の病院における医療の機能に障害者サービスを加えたものです。八階の障害者病棟の三十八床のうち二十床を指定し、お世話をする「生活支援員」を八名配置し、看護師とともに日常のケアを行っていきます。

この事業により、人工呼吸器を使用中の方の入院をより多く受けることが可能になるとともに、療養生活の「生活」の部分により充実させていけることと思います。重度の障害があっても生きがいのある生活ができること、介護者の負担軽減を目指します。

療養介護事業とは？



当院では、平成23年4月より8病棟38床のうち、20床を療養介護事業の患者さんの病床として指定します。

従来の医療＋福祉サービスを提供します

障害者自立支援法に基づいて、人工呼吸器で長期入院を余儀なくされている方や、重症の筋ジストロフィー患者さん、身体の不自由な方（重症心身障害者）に、十分な医療を確保するだけでなく、福祉サービスを提供して、より豊かで広がりのある療養生活を送っていただく為の制度です。

具体的にどんなサービスが受けられるの？

ひとりひとりにあった さまざまな福祉サービスを提供します

従来の医療に加えて、自立支援法による福祉サービスを提供させていただきます。

- 利用者ひとりひとりに個別支援計画を立てます
- 生活支援員が看護とは別にさまざまな福祉サービスを提供させていただきます

提供サービス例：清潔介助、コミュニケーションへの関わり、レクリエーションなど



利用できるのは？

長期入院の医療的ケアに加え、 常時の介護を必要とする 身体・知的障害者の方です

この病室へ入院できるのは下記のとおり、一定の基準に該当する方です。

- 【1】筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者等気管切開を伴う人工呼吸器による呼吸管理を行っている方で、障害程度区分が区分6の方
- 【2】筋ジストロフィー患者または重症心身障害者であって、障害程度区分が区分5以上の方

費用はどのように変わる？

医療費・福祉サービス費によって 自己負担をお願いします

特定疾患治療研究事業制度や重度心身障害者医療費助成制度の利用が出来なくなるため、医療費の助成が受けられなくなります。また、医療費自己負担分とは別に福祉サービス利用についての自己負担をお願いします。負担額は、世帯の収入（本人名義の年金など）に応じて市町村で決定し、医療費負担のように一律の金額ではなく、個別に決定されます。

療養介護事業についてのご質問・お問い合わせは、地域医療課まで

トピックス

平成22年12月14日

第35回クリスマスコンサートを開催しました



八鹿病院合唱団とリズムにのるやっぶー

やっぶーと クリスマスコンサート♪

今回は、スペシャルゲストとして養父市のイメージキャラクター「やっぶー」がかけつけてくれ、リズムにのりながら一緒にコンサートを楽しんでくれました。やっぶーの愛くるしい姿に、会場からも、「かわいい〜」という声が多数あがったり、子どもたちにも大人気でした。



氷ノ山のプナの森の妖精「やっぶー」。可愛らしい姿に癒され、自然と笑顔になってしまいます。



八鹿高校音楽部のみなさん。透明感ある歌声で、コンクールで全国大会に出場されたのも納得！



職員によるバンドtu~tune(ちゅちゅーん)。職種も制服も違うけど、ひとつになって楽しく演奏させていただきました。

平成22年9月

マンモグラフィ検診施設 画像認定を取得しました

この認定は、検診に必要とされる基準を満たした施設に与えられており、皆さんにより精度の高い検診を受けてもらえるようになりました。安心して検査をお受けください。

お問い合わせ 画像診断科



医師異動のお知らせ

【新任医師】～よろしくお願ひます～

【内科】10月12日付

しおた てつひろ
塩田 哲広

【退任医師】

～お世話になりありがとうございました～

【耳鼻咽喉科】12月31日付

正垣 一博

発行

公立八鹿病院 地域医療課

〒667-8555 兵庫県養父市八鹿町八鹿1878-1 TEL.079-662-5555(代) <http://www.hosp.yoka.hyogo.jp>

